

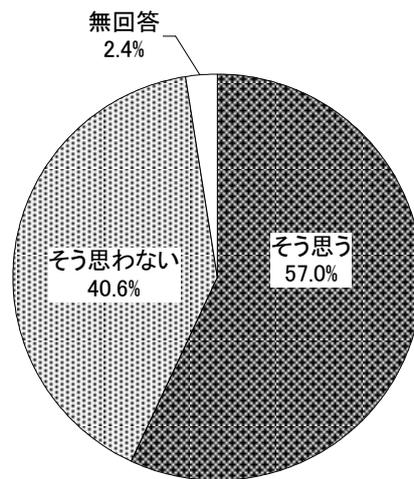
## 12 在宅医療について

### (1) 在宅療養への考え

問34 あなたが病気やけがで長期の療養が必要になり、通院が困難になった場合、自宅で療養したいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

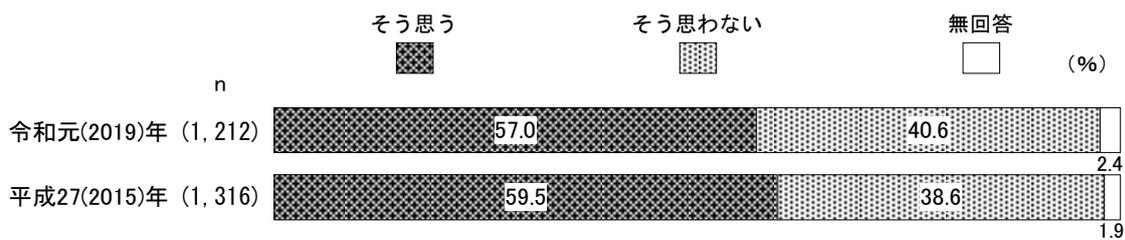
[n=1,212]

1 そう思う 57.0% 2 そう思わない 40.6%  
(無回答) 2.4



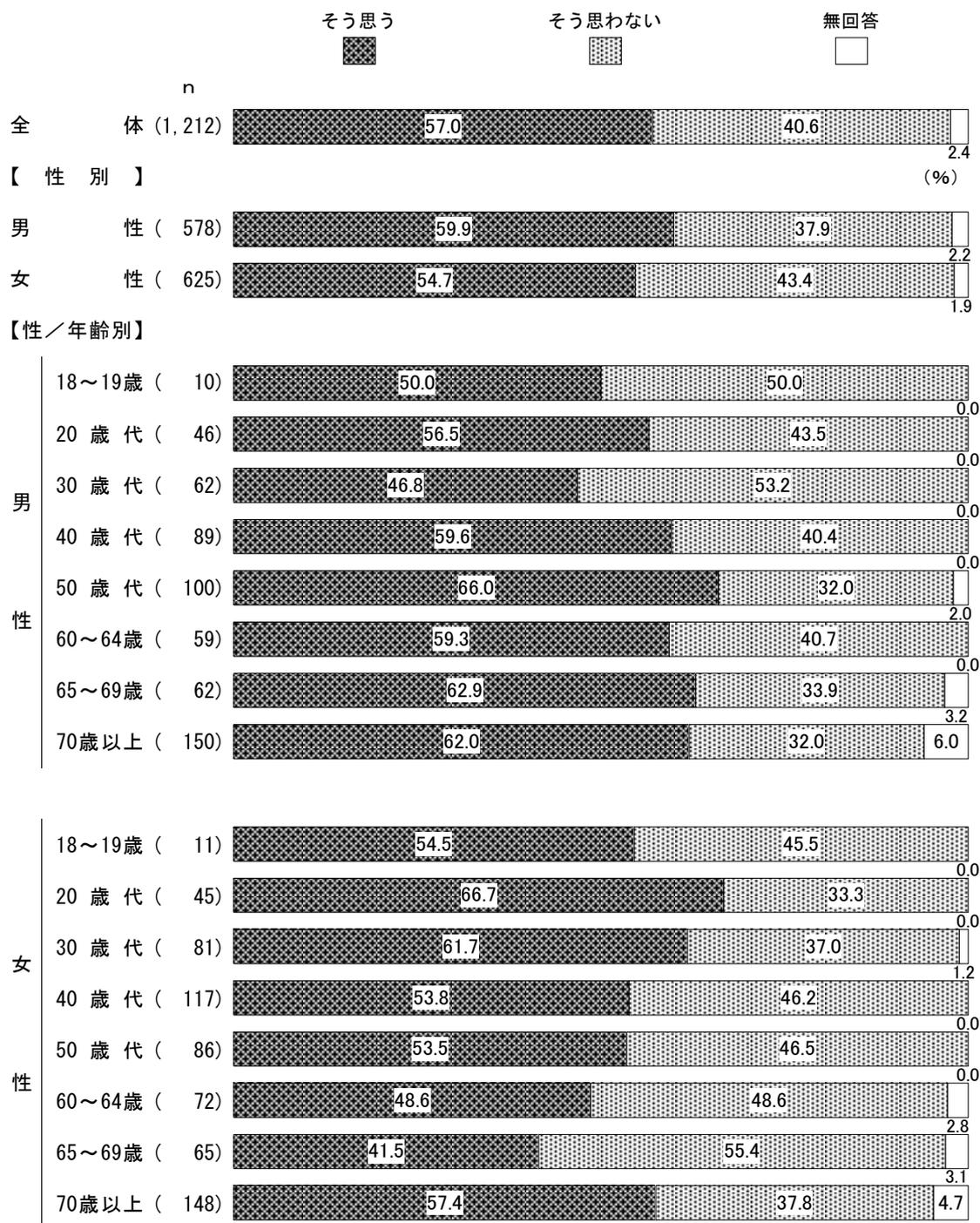
(n=1,212)

全体でみると、「そう思う」(57.0%)は6割近くとなっている。一方、「そう思わない」(40.6%)はほぼ4割となっている。



平成27(2015)年の調査結果と比較すると、「そう思う」が2.5ポイント減少している。

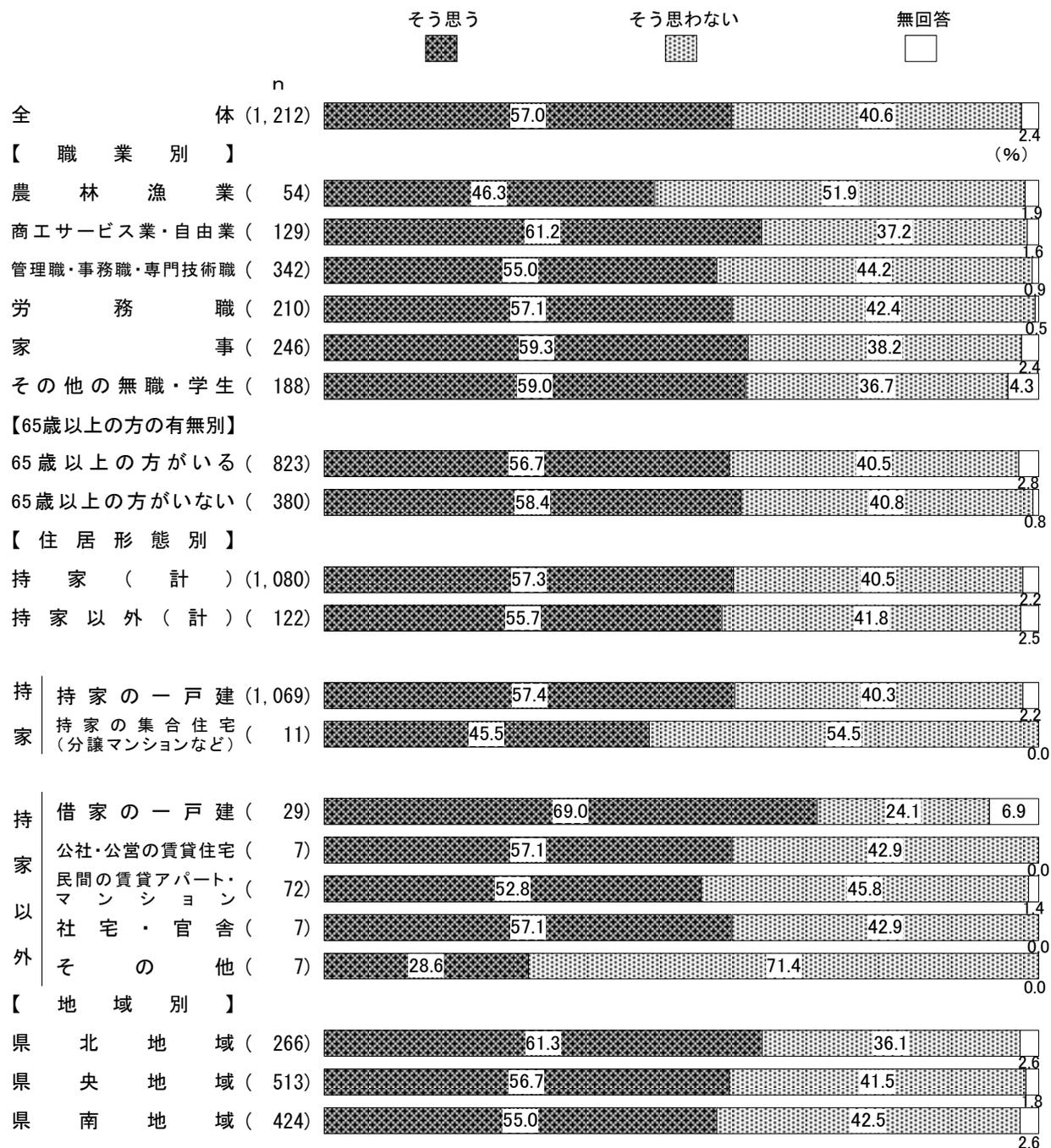
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「そう思う」では〈男性〉(59.9%)が〈女性〉(54.7%)より5.2ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「そう思う」では〈女性20歳代〉が66.7%、〈男性50歳代〉が66.0%と高くなっている。一方、「そう思わない」では〈女性65～69歳〉が55.4%、〈男性30歳代〉が53.2%と高くなっている。

[職業別・65歳以上の方の有無別・住居形態別・地域別]



職業別でみると、「そう思う」では〈商工サービス業・自由業〉が61.2%と高くなっている。一方、「そう思わない」では〈農林漁業〉が51.9%と高くなっている。

65歳以上の方の有無別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

住居形態別でみると、〈持家(計)〉と〈持家以外(計)〉との間で大きな傾向の違いはみられない。

地域別でみると、「そう思う」では〈県北地域〉が61.3%と高くなっている。

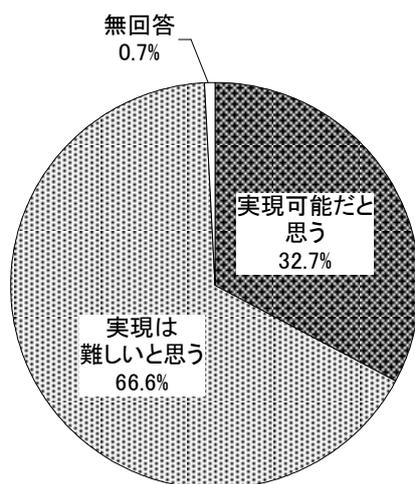
(1-1) 自宅療養実現に対する考え

(問34で選択肢「そう思う」を選んだ方のみお答えください)

問34-1 自宅での療養は実現可能だと思いますか。次の中から1つ選んでください。

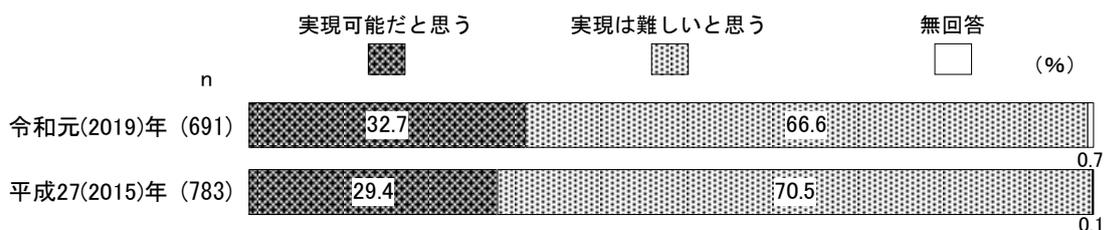
[n=691]

1 実現可能だと思う	32.7%	2 実現は難しいと思う (無回答)	66.6% 0.7
------------	-------	----------------------	--------------



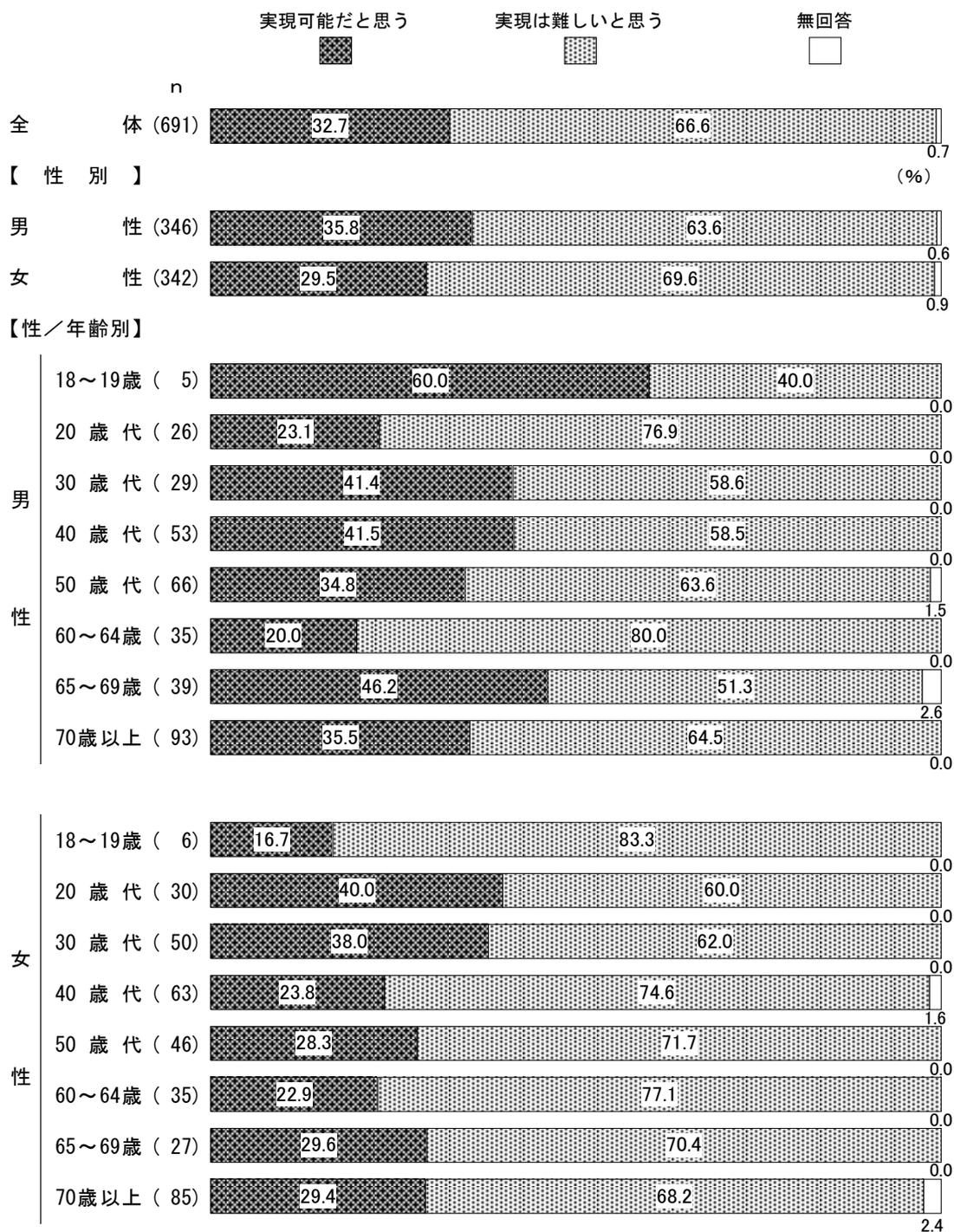
(n=691)

全体でみると、「実現可能だと思う」(32.7%)は3割を超えている。一方、「実現は難しいと思う」(66.6%)は7割近くとなっている。



平成27(2015)年の調査結果と比較すると、「実現可能だと思う」が3.3ポイント増加している。

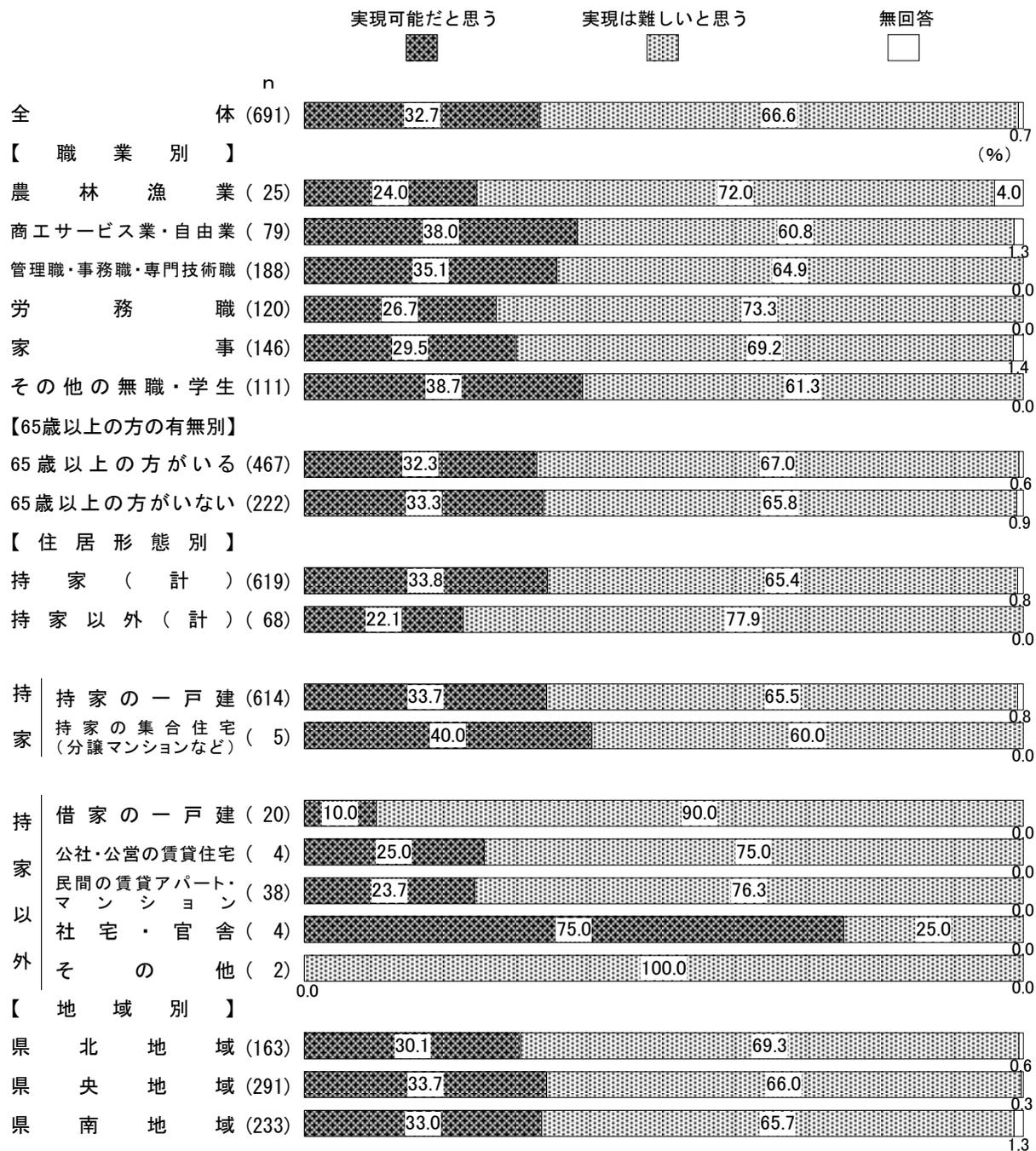
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「実現可能だと思う」では〈男性〉（35.8%）が〈女性〉（29.5%）より6.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「実現可能だと思う」では〈男性65～69歳〉が46.2%と高くなっている。一方、「実現は難しいと思う」では〈男性60～64歳〉が80.0%、〈女性60～64歳〉が77.1%と高くなっている。

[職業別・65歳以上の方の有無別・住居形態別・地域別]



職業別でみると、「実現可能だと思う」では〈その他の無職・学生〉が38.7%、〈商工サービス業・自由業〉が38.0%と高くなっている。一方、「実現は難しいと思う」では〈労務職〉が73.3%と高くなっている。

65歳以上の方の有無別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

住居形態別でみると、「実現可能だと思う」では〈持家(計)〉(33.8%)が〈持家以外(計)〉(22.1%)より11.7ポイント高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

### (1-1-1) 自宅療養が難しい理由

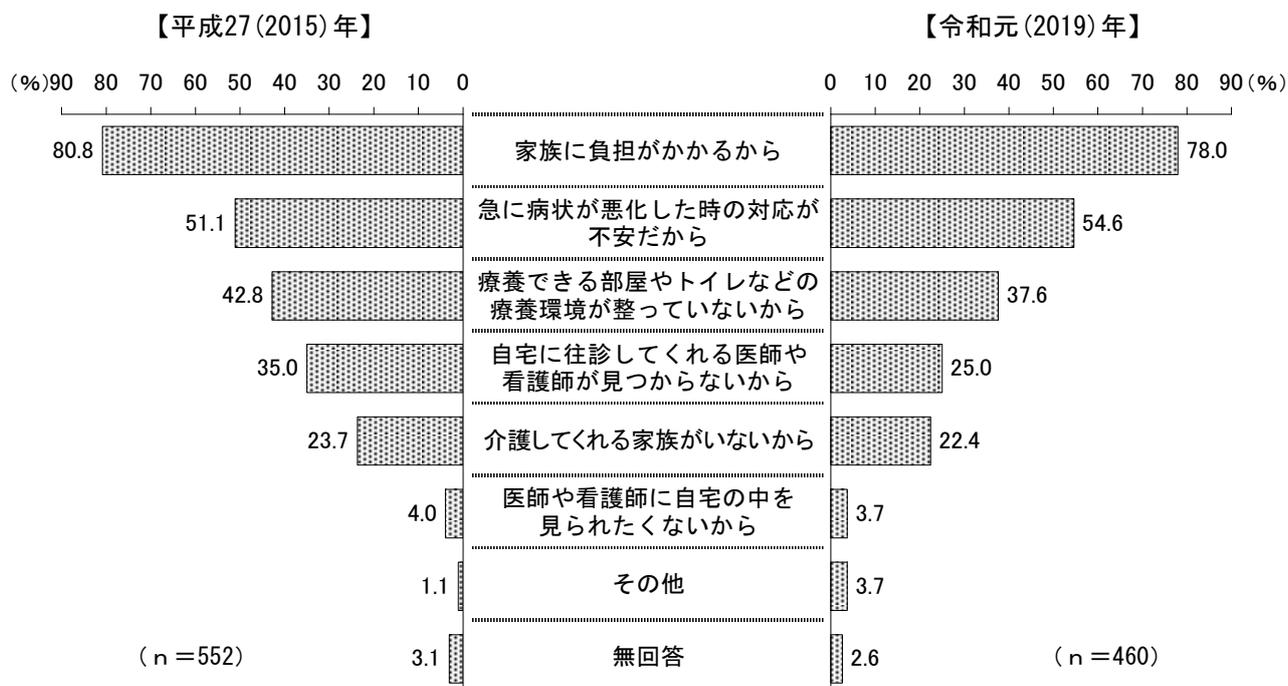
(問34-1で選択肢「実現は難しいと思う」を選んだ方のみお答えください)

問34-1-1 自宅での療養が難しいと思う理由は何ですか。

次の中から3つまで選んでください。

[n=460]

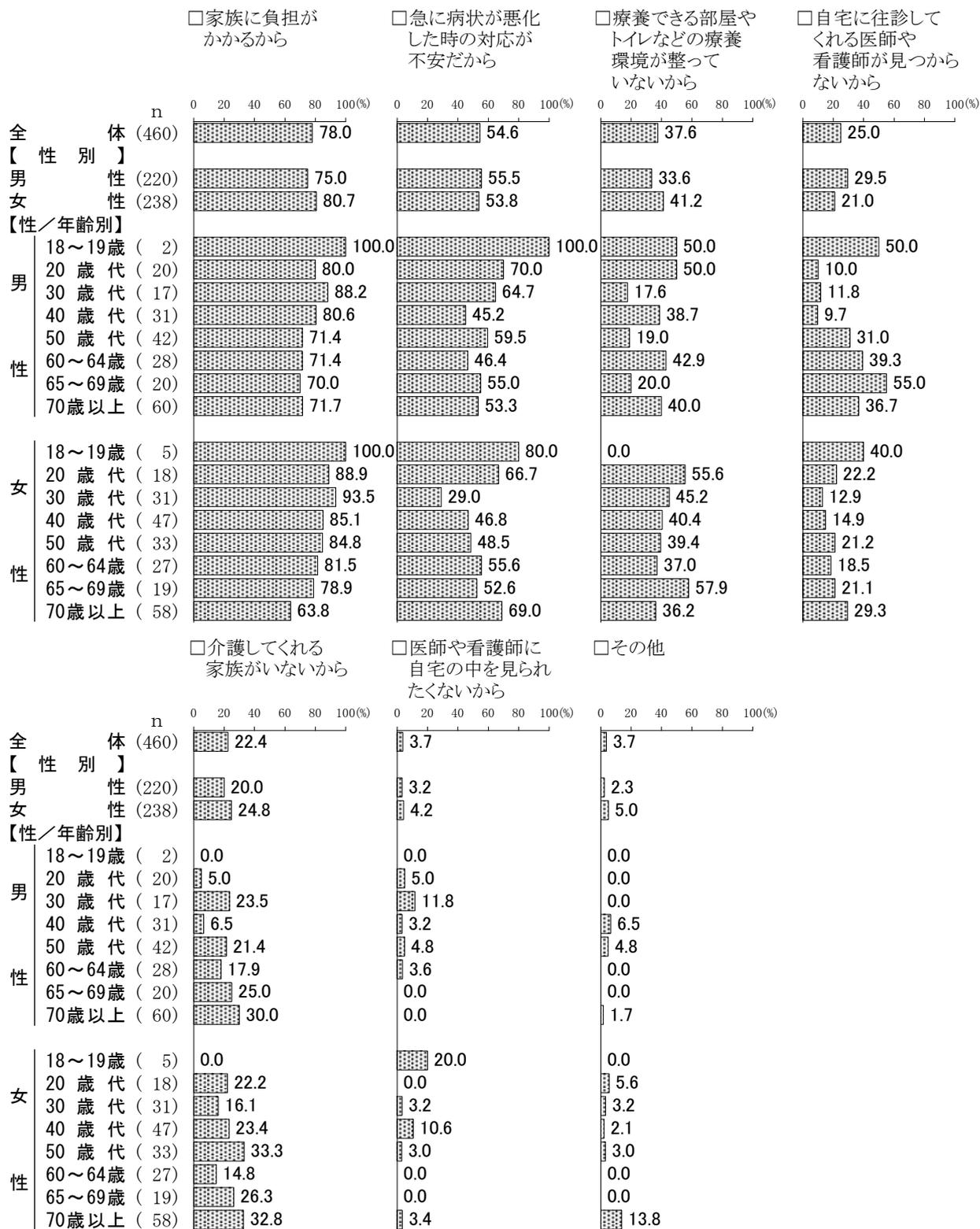
1	急に病状が悪化した時の対応が不安だから	54.6%
2	家族に負担がかかるから	78.0
3	療養できる部屋やトイレなどの療養環境が整っていないから	37.6
4	自宅に往診してくれる医師や看護師が見つからないから	25.0
5	介護してくれる家族がないから	22.4
6	医師や看護師に自宅の中を見られたくないから	3.7
7	その他	3.7
	(無回答)	2.6



全体で見ると、「家族に負担がかかるから」(78.0%)が8割近くで最も高く、次いで「急に病状が悪化した時の対応が不安だから」(54.6%)、「療養できる部屋やトイレなどの療養環境が整っていないから」(37.6%)、「自宅に往診してくれる医師や看護師が見つからないから」(25.0%)、「介護してくれる家族がないから」(22.4%)の順となっている。

平成27(2015)年の調査結果と比較すると、「自宅に往診してくれる医師や看護師が見つからないから」が10.0ポイント、「療養できる部屋やトイレなどの療養環境が整っていないから」が5.2ポイント、それぞれ減少している。

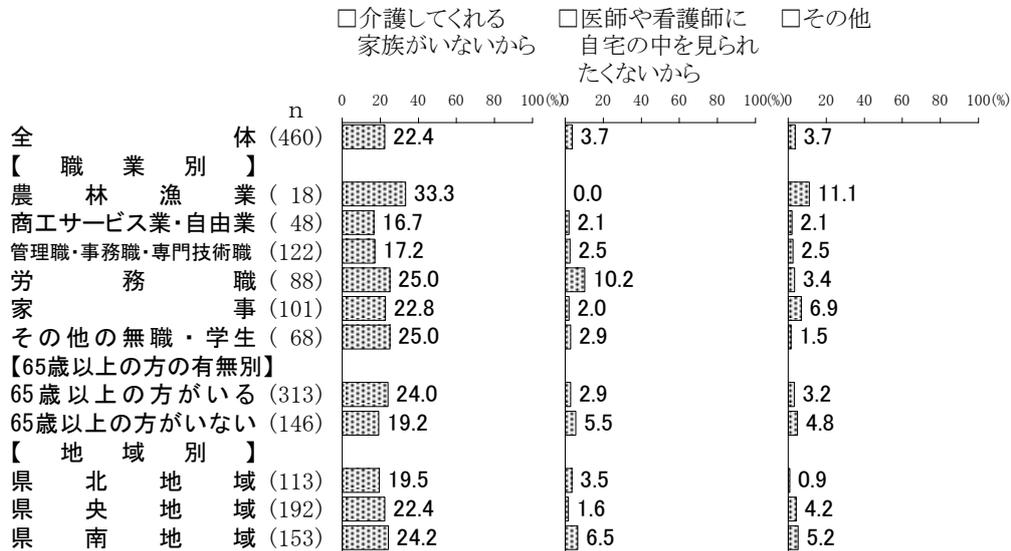
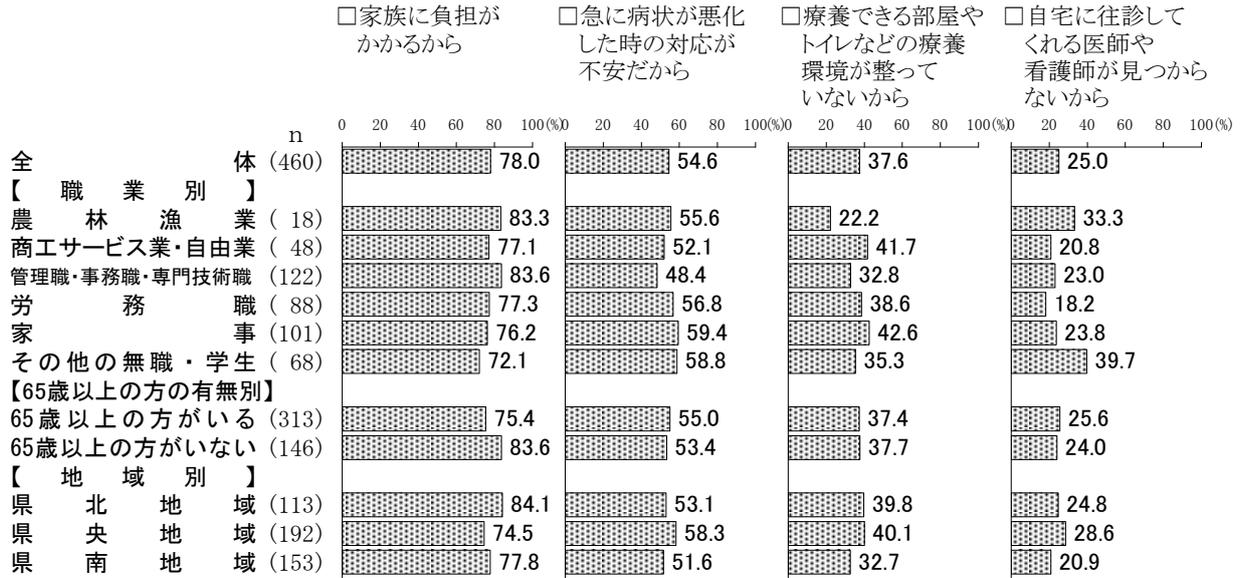
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「自宅に往診してくれる医師や看護師が見つからないから」では〈男性〉(29.5%)が〈女性〉(21.0%)より8.5ポイント高くなっている。「療養できる部屋やトイレなどの療養環境が整っていないから」では〈女性〉(41.2%)が〈男性〉(33.6%)より7.6ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「家族に負担がかかるから」では〈女性30歳代〉が93.5%と高くなっている。「急に病状が悪化した時の対応が不安だから」では〈女性70歳以上〉が69.0%と高くなっている。「介護してくれる家族がないから」では〈女性50歳代〉が33.3%、〈女性70歳以上〉が32.8%と高くなっている。

[職業別・65歳以上の方の有無別・地域別]



職業別でみると、「自宅に往診してくれる医師や看護師が見つからないから」では〈その他の無職・学生〉が39.7%と高くなっている。

65歳以上の方の有無別でみると、「家族に負担がかかるから」では〈65歳以上の方がいない〉(83.6%)が〈65歳以上の方がいる〉(75.4%)より8.2ポイント高くなっている。「介護してくれる家族がいないから」では〈65歳以上の方がいる〉(24.0%)が〈65歳以上の方がいない〉(19.2%)より4.8ポイント高くなっている。

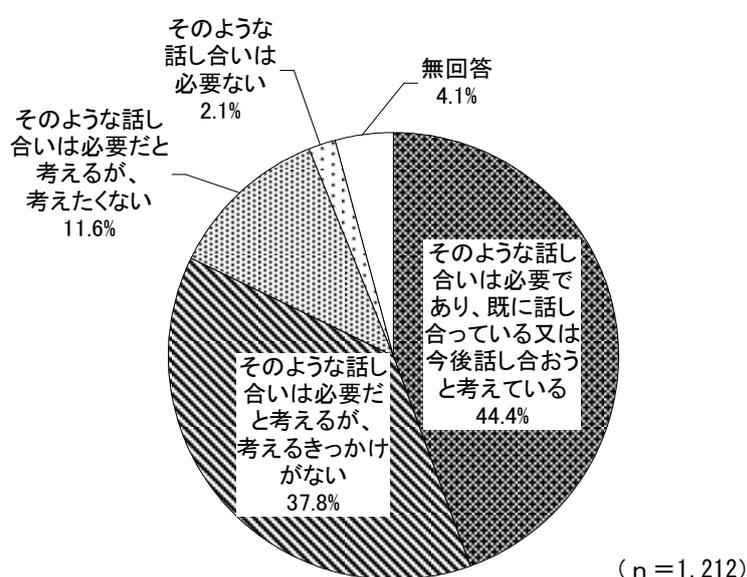
地域別でみると、「家族に負担がかかるから」では〈県北地域〉が84.1%と高くなっている。「急に病状が悪化した時の対応が不安だから」では〈県央地域〉が58.3%と高くなっている。「自宅に往診してくれる医師や看護師が見つからないから」では〈県央地域〉が28.6%と高くなっている。

(2) 人生の最終段階を迎えたときの医療やケアの希望等を事前に話し合うことへの考え

問35 人生の最終段階を迎えた時の医療やケアの希望等の意思表示を家族等と事前に繰り返し話し合うことについて、どのようにお考えですか。次の中から1つ選んでください。

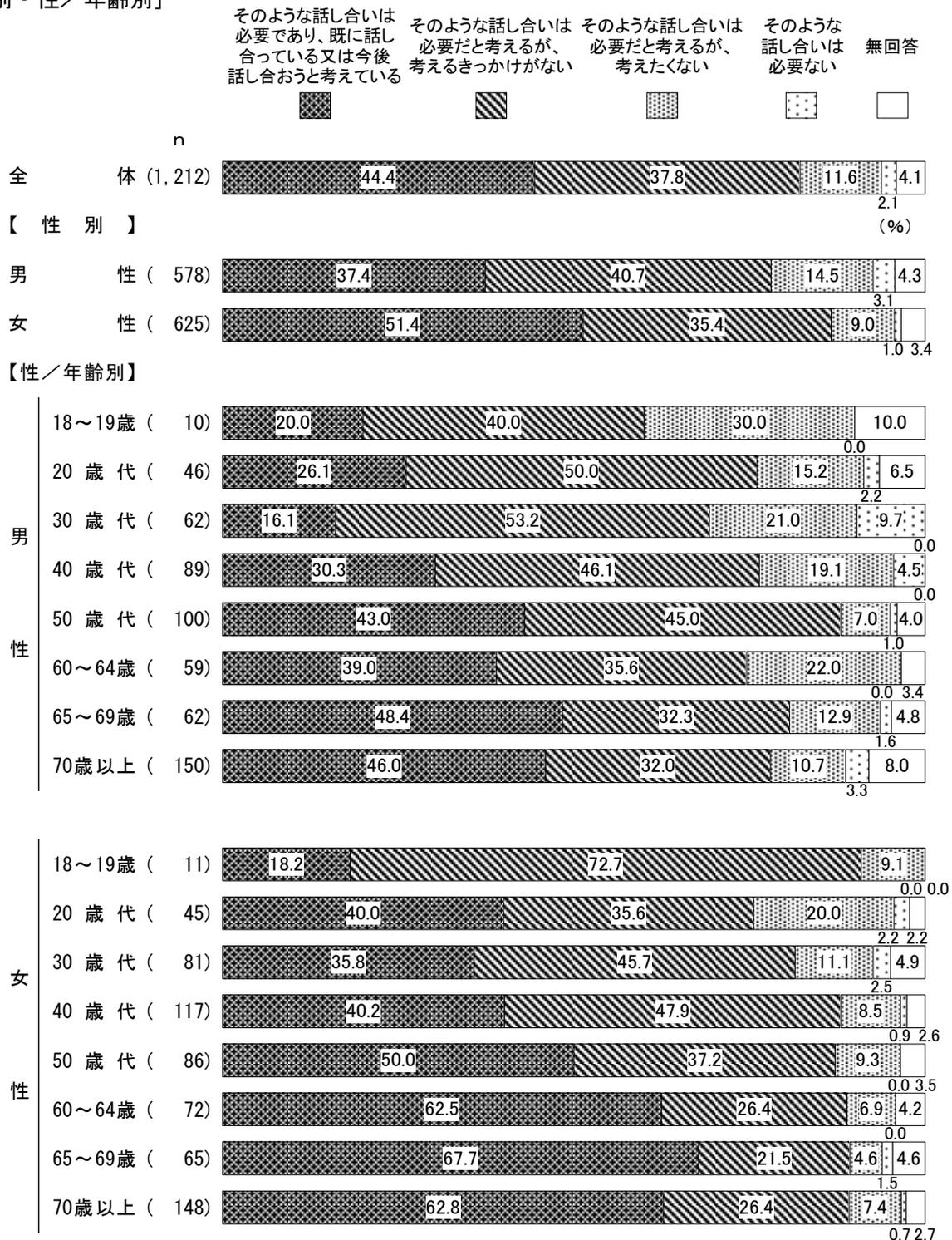
[n=1,212]

- |   |  |       |
|---|--|-------|
| 1 | そのような話し合いは必要であり、既に話し合っている又は今後話し合おうと考えている | 44.4% |
| 2 | そのような話し合いは必要だと考えるが、考えるきっかけがない            | 37.8% |
| 3 | そのような話し合いは必要だと考えるが、考えたくない                | 11.6% |
| 4 | そのような話し合いは必要ない                           | 2.1%  |
|   | (無回答)                                    | 4.1%  |



全体で見ると、「そのような話し合いは必要であり、既に話し合っている又は今後話し合おうと考えている」(44.4%)は4割半ばとなっている。「そのような話し合いは必要だと考えるが、考えるきっかけがない」(37.8%)は4割近くで、「そのような話し合いは必要だと考えるが、考えたくない」(11.6%)は1割を超えている。

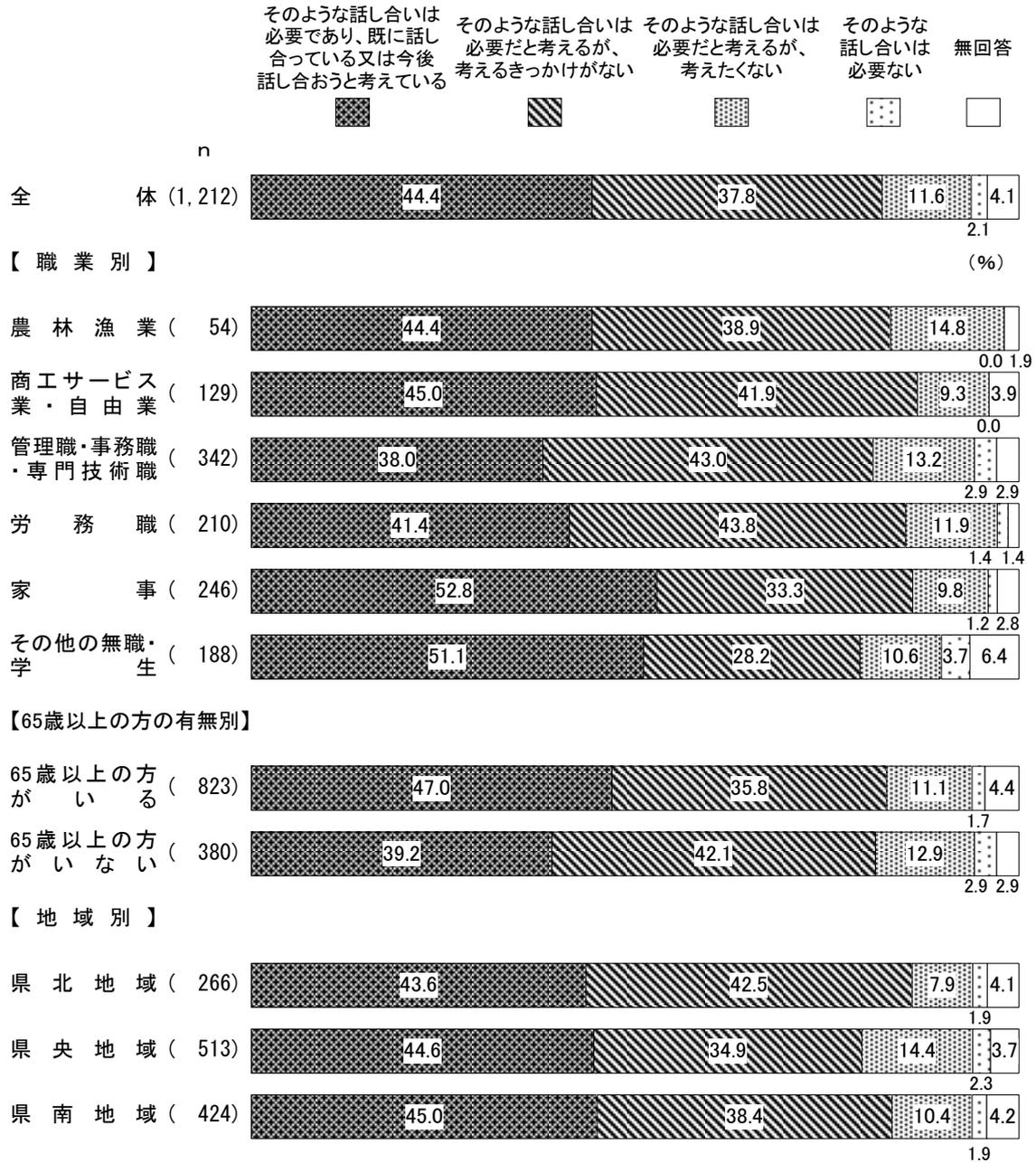
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「そのような話し合いは必要であり、既に話し合っている又は今後話し合おうと考えている」では〈女性〉(51.4%)が〈男性〉(37.4%)より14.0ポイント高くなっている。「そのような話し合いは必要だと考えるが、考えたくない」では〈男性〉(14.5%)が〈女性〉(9.0%)より5.5ポイント高くなっている。「そのような話し合いは必要だと考えるが、考えるきっかけがない」では〈男性〉(40.7%)が〈女性〉(35.4%)より5.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「そのような話し合いは必要であり、既に話し合っている又は今後話し合おうと考えている」では〈女性65~69歳〉が67.7%、〈女性70歳以上〉が62.8%、〈女性60~64歳〉が62.5%と高くなっている。「そのような話し合いは必要だと考えるが、考えるきっかけがない」では〈男性30歳代〉が53.2%、〈男性20歳代〉が50.0%と高くなっている。

[職業別・65歳以上の方の有無別・地域別]



職業別でみると、「そのような話し合いは必要であり、既に話し合っている又は今後話し合おうと考えている」では〈家事〉が52.8%、〈その他の無職・学生〉が51.1%と高くなっている。「そのような話し合いは必要だと考えるが、考えるきっかけがない」では〈労務職〉が43.8%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が43.0%と高くなっている。

65歳以上の方の有無別でみると、「そのような話し合いは必要であり、既に話し合っている又は今後話し合おうと考えている」では〈65歳以上の方がいる〉(47.0%)が〈65歳以上の方がいない〉(39.2%)より7.8ポイント高くなっている。「そのような話し合いは必要だと考えるが、考えるきっかけがない」では〈65歳以上の方がいない〉(42.1%)が〈65歳以上の方がいる〉(35.8%)より6.3ポイント高くなっている。

地域別でみると、「そのような話し合いは必要だと考えるが、考えるきっかけがない」では〈県北地域〉が42.5%と高くなっている。